

関東軍第一通信隊 (満洲三七五六〇七) 行動概見表

昭和20年1月31日 留部第3謀

部隊長名 大佐 島 義
 同戦時の総人員 約九八〇
 本部中隊別区分並隊長官氏名及人員
 本部

隊長 大佐 島 義
 副官 中尉 山本 義一
 兵務係 中尉 井上 清二
 経理係 中尉 池淵 隆一
 医務係 中尉 馬島 重隆
 暗号係 中尉 花井 倉之助
 通信係 中尉 横山 直樹
 部 附 中尉 森田 政規
 教育隊 長 少尉 菊地 徳造
 隊 附 中尉 菅野 源吾
 各通信所 1 新京 中尉 野口 国夫 約二〇〇
 2 奉天 中尉 雙内 通弘 約一七〇
 3 哈尔滨 中尉 石川 修三 約一四〇
 4 介派道通信所

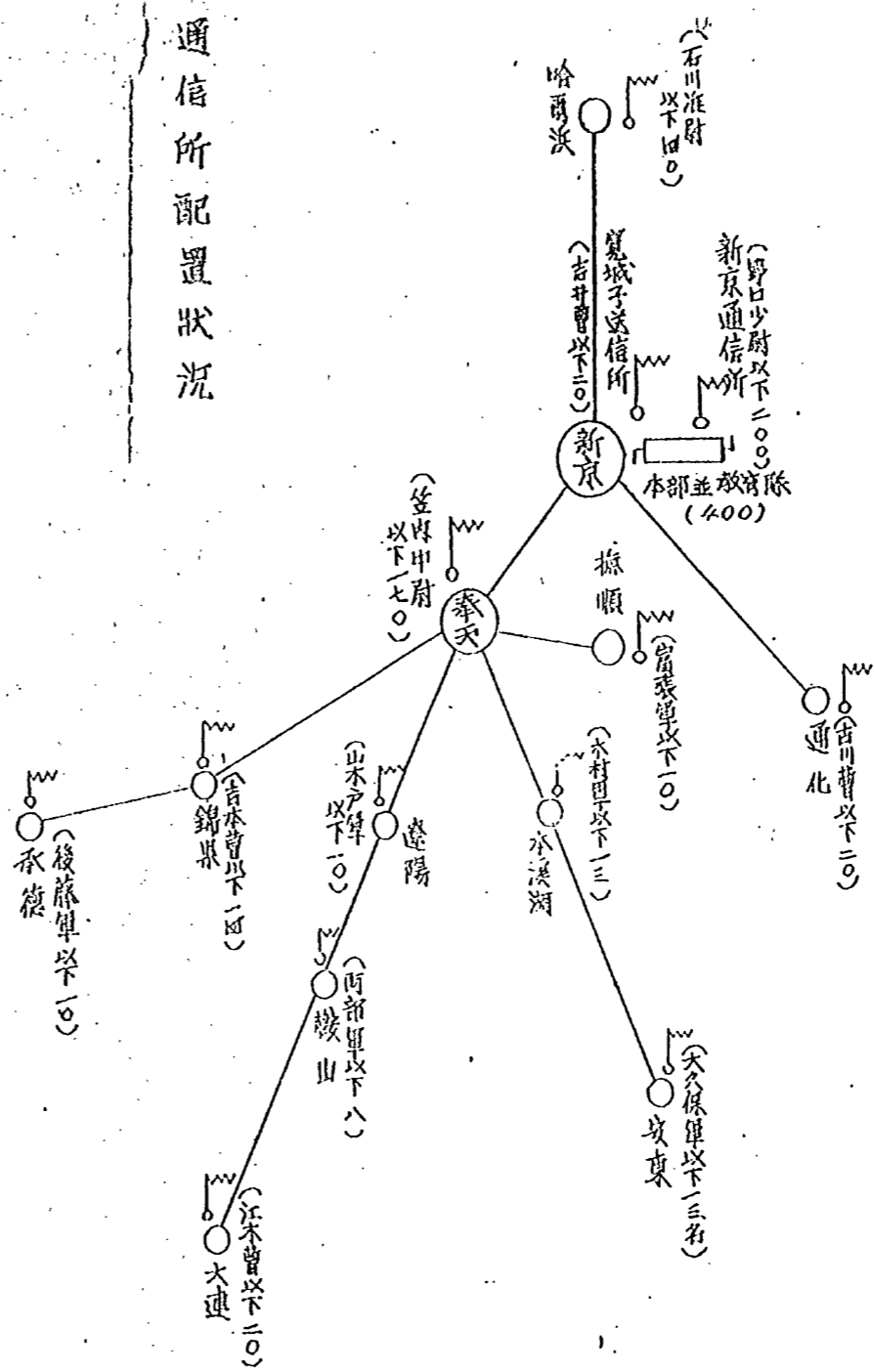
成
 1 寛城子(通信所)曹吉 尾 俊 二〇
 2 大連 曹 江木 正高 二〇
 3 錦州 曹 吉本 秀雄 一四
 4 遼陽 曹 山本 戸伯 一〇
 5 旅順 曹 富張 慎吾 一〇
 6 木溪湖 曹 木村 恭道 一三
 7 安東 曹 大久保 正一 一三
 8 承德 曹 後藤 安治 一〇
 9 鞍山 曹 阿部 清二 一八
 10 道化 曹 江木 正富 二〇

同戦前の駐屯地 新京郊外 南嶺
 軍事郵便所名 満洲第三〇二軍事郵便所気付
 移駐の順序
 昭20.8.5 改編に依り編成完結後部隊の主力
 (本部、教育隊、新京通信所)は南嶺に駐屯し終戦迄移動なし。20.8.7 通信隊司令部第一通信隊兵舎内に移動し来る
 昭20.8.20 奉天通信所は武解後奉天北陵に集結す
 昭20.8.20 哈尔滨通信所は武解後海林に集結す

部隊の編成経緯
 部隊は新京に於て昭20.8.5第十一固定通信隊を基幹として第二航空固定通信隊より約二〇〇名、新京固定通信隊本部教育隊より約三五〇名編入せしめて編成し南滿洲一帯の通信網を担当す
 (第十一固定通信隊並に第二航空固定通信隊より編入せる二〇〇名を以て本部及通信所(介派道通信所を含む)を構成、固定通信隊本部より編入し来る三五〇名)

部 隊 の 成 立 方

を以て教育隊を構成す）
 部隊の主力（本部、教育隊、新京通信所）は南嶺に駐屯し奉天、哈爾濱の通信所
 の外撫順、水溪湖、安東、遼陽、鞍山、大連、錦県、承德の通信所を有す
 通信所は20.8.5新設せるものなり、部隊の編成定員は大體に於て充足す



二、転出入の状況

編成完結が20.8.5にて日淡き故転出なきも編成完結後開戦となりたる為転入には
 混乱を来す

三、現地応召

改編後に於ては現地応召なきも固定通信隊本部より編入して来た三五〇は固定通
 信隊本部に於て20.5.1及20.6.3召集せる現地応召者なり

四、入院、分派遣の状況

入院患者については不明
 分派遣に關しては通信所配置参照
 (撫順、本溪湖、安東、遼陽、鞍山、大連、錦県、承德)

閩 戦 か ら 武 解 迄

閩戦時から武解迄の部隊行動

主力及各通信所は終戦に至る迄全然戦事には参加せず従つて戦事に依る人員の損耗なく左記の如く行動する

本部教育隊

20.8.9 閩戦となるに及び新京敷高女に駐屯せる通信隊司令部と共に南嶺の第一通信隊兵舎内に移駐す20.8.18-19 新京南嶺一通信兵舎にて武解を受けたる後

新京通信所

20.8.18 新京にて武解、20.9 作大縮成迄通信連絡を続行す、作大縮成後は本部主力と同一行動

奉天通信所

20.8.20 新京及此の附近の現地応召者約七〇並に軍属約二〇現地召解をなす
閩戦となるや蒙三方軍司令部の行動と共にす20.8.20 奉天にて武解を受けたる

後奉天北陵に集結され同地にて作大縮入

20.8.20 軍属約一〇現地召解

尚 電々会社よりの派遣者は20.8.20 各電々社に復版せしむ

哈爾濱通信所

20.8.16 停戦命令を受け20.8.20 郊外孫家にて武解を受けたる後海林に送られ同地にて作大に縮入す

20.8.18 新京の甚方は復帰し本部と同一行動を取る

大連通信所

20.8.25 大連にて武解後大連にて労役従事(入ソせず)

遼陽通信所

20.8.20 遼陽にて武解を受けたる後20.8.27 海城元鉄道隊に收容され20.10 大連收容所に縮入す(入ソせず)

撫順通信所

20.8.20 撫順にて武解を受けたる後20.8.25 范家屯に送られ同地にて労役従事20.10 大連收容所に縮入す(入ソせず)

承德通信所

20.8.21 承德にて武解を受けたる後承德警備に当り9.15 承德郊外蒙ソランバトル收容所に縮入す

錦県通信所

同戦となるや一〇八師団と行動を共にし錦県—遼陽—海城と移動、20.8.20 遼陽にて武解後海城に收容され海城にて作大に

鞍山通信所

独立第一五飛行団司令部と行動を共にす20.8.20 鞍山にて武解を受けたる後同地にて石炭積込作業に従事20.10 鞍山にて作大に縮入する

入ソの後ノ状況	状況前	
<p style="text-align: center;">入ソの状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>承德分遣所</p> <p>承德集結</p> <p>承德一作大 長 野淵大尉</p> <p>ウラバートル</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>哈爾濱通信所</p> <p>海林集結</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>海林一〇五作大 一通 一〇以外</p> <p>タイセツト</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>海林一〇三作大 一通 五〇以外</p> <p>ウオロシロフ</p> </div> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>奉天の部隊</p> <p>奉天 本溪 遼陽</p> <p>奉天北陵集結</p> <p>奉天一作大 長大塚大尉 吉三 芳賀 二通</p> <p>パクダール</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>部隊の主力</p> <p>本溪 育 隊部 新京 通信所 寫城子 送信所 通化 分遣所</p> <p>新京南嶺集結</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>新京南嶺 第一作大隊 人員一〇〇〇</p> <p>バクワード ニハハ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>新京南嶺 將 作 大</p> <p>マルンヤンスク</p> </div> </div> </div> </div>	<p style="text-align: center;">中共地區殘留状況</p> <p>現地召集者の現地百餘もあり尚各通信所に於ても終戦時に於て多少にかかわらず 遺亡者を出した状況故中共残留の公算あるものを有す</p>	<p style="text-align: center;">安東通信所</p> <p>20.8.20 南安東にて武解を受けたる後奉天に移動す、奉天北陵にて作大に縮入する 通化通信所 20.8.5 改編と共に開設せるものにして20.8.20 通化にて武解を受けたる後新京に 復帰本部と合す</p>